

- ① 「W杯給食」を始める目的を、記事の中から抜き出しましょう。



あと267日
 小中学校 特別支援学校
 定時制高校ではラグビーが1チーム15人制であることにちなみ、毎月15日を「W杯給食の日」にする。県内の高校生が調べた郷土料理や考案したアレンジ料理のレシピをまとめた冊子（10月発行）を使い、学校ごとに作ってもらう。
 年度内に全体の約6割に当たる計266校での実施を予定しており、来年度は参加校を増やす考え。大

オーストラリアのミートパイに、ウェールズのパンケーキ。来秋のラグビーワールドカップ（W杯）大分開催に向けて、県内の公立学校や社会福祉施設などで来年1月から、来県チームの郷土料理を提供する給食が始まる。多様な食文化に触れることで各国・地域への関心を高め、大会の盛り上がりや国際理解・交流の促進につなげる。W杯県推進委員会が企画した。

来県チームの郷土料理登場

来月からW杯給食

学校、施設で「味わって」

- ② W杯給食のメニューの基になるものは何でしょうか。記事の中から抜き出しましょう。



会期中中の10月まで続ける。大分、別府など10市町にある保育所や老人ホーム、病院など計29施設でも実施。県栄養士会に作成を委託したレシピを基に随時、利用者に出示してもらう。県内では来年10月27、28日の大分銀行ドーム（大分市）で1次リーグ3試合と

準々決勝2試合がある。ニュージーランド・カナダ、オーストラリア・ウルグアイ、ウェールズ・フィジーの対戦が決まっている。欧州・南米、オセアニアなど世界から集まる各国・地域の料理はスープだけでなくバラエティー豊か。揚げ物、煮物、菓子などもあ

(2018年12月27日付朝刊社会面)

- ③ この記事に登場する世界の国々について、どの国でもいいので知っていることや、調べて分かったことを書きましょう。